

教科名〔 数 学 〕

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
数学Ⅱ（ロ）	1単位	2年1～6組	＊

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	①小・中学校で学んだ関連事項を最習得し、理解を深める。 ②関数が、自然や社会の事象を数量化して扱うのに大切であると認識させる。 ③数の表記について、なぜ便利なのか理解し習得する。 ④三角関数や指数関数について、基礎的な知識の習得を図る。 ⑤微分の考えについて、基礎的な知識の習得を図る。
使用教科書・副教材等	数研出版『改訂版 高校の数学Ⅱ』 副教材：数研出版『ポイントノート 数学Ⅱ』、プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考 査 範 囲	評価の観点のポイント				
						態 度	関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	3章 いろいろな関数 1節 三角関数 1. 一般角 2. 三角関数 3. 三角関数の相互関係 4. 三角関数の性質	4 ・ 5	・ 数学Ⅰの内容を復習する。 ・ 動径の表わす一般角を理解し、一般角の三角関数を学習する。 ・ 図より三角関数の相互関係を理解する。	復習プリント 副教材	第 1 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	○
	5. 三角関数のグラフ(1) 6. 三角関数のグラフ(2) 7. 加法定理 8. いろいろな公式 9. 弧度法	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	・ 三角関数のグラフを丁寧に描いて、周期関数の概念を理解する。 ・ 今までに学習したいろいろな関数と周期関数の違いを理解する。	復習プリント 副教材	第 1 学 期 期 末 考 査	○	○	○	○	○
第 2 学 期	2節 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 累乗根	9 ・ 10	・ 指数の意味を学び、記述方法を習得する。 ・ 累乗根の意味を理解する。 ・ n乗根の性質を理解し、計算できるようになる。	復習プリント 副教材	第 2 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	○

	3. 指数の拡張 4. 指数関数のグラフ(1) 5. 指数関数のグラフ(2)	10 ・ 11 ・ 12	・分数の指数を理解する。指数を拡張しても、指数法則が使用できる便利さ、法則の汎用性を理解する。 ・指数関数のグラフが描け、潜在的にある比例関係だけの知識から脱却を図る。	復習プリント 副教材	第2学期期末考査	○	○	○	○
第3学期	4章 微分法と積分法 1節 微分法 1. 平均変化率 2. 微分係数 3. 導関数 4. 導関数の計算 5. 接線 6. 関数の増減 7. 関数の極大値・極小値 8. 関数の最大値・最小値	1 ・ 2 ・ 3	・平均の速さや変化率を理解する。 ・瞬間の速さや変化率から微分係数や導関数の概念を学習し、簡単な計算ができるようになる。 ・3次関数の増減の変化がわかり、グラフが描けるようになる。	復習プリント 副教材	学年末考査	○	○	○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業のノートに替わるプリント・授業に用いたプリント・副教材の問題集・長期休暇の宿題など。									
【1・2・3学期における評価方法】 定期考査の成績・提出物の内容・授業を受ける態度などから総合的に評価する。									